

(Lonely Night Gathering)

さみしい夜の句会報 第114号 (2023. 4. 23-2023. 4. 30)

- ◆ 参加者…しまねこくん、萩原アオイ、石原とつき、小沢史、岩瀬百
えびたからいち、片羽あひこ、雲雀、何となく短歌、須賀善昭、星野響
流天、ゆう、syusyū、みくたん、水の眠り、馬勝、西脇祥貴、しろう
も、元さん、のんのん、雷(らい)、思雨(スレ)、在原涙、雪上牡丹餅
奥かすみ、おかもとかも、藤井阜、西沢葉火、佐竹紫円、花野玖、さ
し、白石ボビー、みおうたかふみ、鷺沼くぬぎ、屑乃ハコ、石川聡
上崎、とるばとる、輪井ゆう、まつりべきん、さくら、まめのすけ、
あひこ、たろりずむ、消々、涼閑、天やん、似鳥、川合大祐、一人用と
たつ、森砂季、さげせん、すずしろゆき、こたろう、睦月ヨシ、hyutoppa
突波、シ西井あつし、鴨川ねぎ、黒貫、Nichtraucherchen、はゆ
き咲くら、line、宮坂愛哲、donkey、峯ひろき、カゲキ・ちやげざん、
山田真佐明、菊池洋勝、とし、ばさ、saku、mugwort、Born Slippy(モ
ンモン)、むくみんママ、森内詩紋、ささ(砂狐)、海月漂、乙ノ、雲
心、みさきゆう、太代祐一、風ちひろ、此糸むら咲、あまのこ、朝の露
となりて、まつもとともこ、新出既出20、ピーヒヤラ、月波与生(八
九名)

- ◆ 7・7、5・7・5 (川柳・俳句)
たんぼぼぢやないよお前が飛ぶんだよ しまねこくん
木流しや行商人の待つ河原 菊池洋勝
喋らないたんぼぼだけが種になる しまねこくん
新月の中へ群がる螢烏賊 石川聡
晴れていて支点以外の点を打つ 川合大祐
朗読家たちの抜き打ちテスト中 川合大祐
オペ室へ首長竜の鳴く夜に 消々
百歩譲って二歩下がる 西沢葉火
背骨が並ぶ瓦屋根 西沢葉火

昭和の日帰つてくれよウルトラマン　しまねこくん
爬虫類みたいに切手を舐めるのね　のんのん
恋人よ骨になったらきれいだね　のんのん
ときめきは前輪だけで出来ている　しろとも
春の空天国の背が透けている　星野響
ぶらんこの板に溶接すべき足　しまねこくん
さようなら四月に眠る毛布たち　上崎
とこしえの背景としてねむる獺　上崎
痩せてきたピクトグラムに見覚えが　Ryu_sen

泣かないで蝶はあなたとはんぶんこ　小沢史
菓子箱に春蚕の丈の揃いゆく　岩瀬百
花の夜に溺れてなるか磯嘆き　片羽雲雀
たかじんが歌ってエンド桜散る　須賀善昭
遠花火あなたと見上げるイリュージョン　流天
何も羨むものなかりけり竹の秋　SYUSU
何も無い身に巡礼はきつい　水の眠り
独活を掘る聖地を奪い合う獣　馬勝
奔放な暮しの末路　▶▶▶おっとせい　西脇祥貴
まっ白な表紙のノートまだ使わずにおく　雷
Sを貫く資本主義こそドS　雪上牡丹餅
年ごろの娘あらあら子犬　おかもとかも
風と影がこわいよお母さんの遊具　藤井阜
カップ麺よりどりみどり昭和の日　花野玖
突風に爪を立てても虚無が居る　さー
「指定の題なし」という題あり　雪上牡丹餅
年度末おえて五月の寝正月　みおうたかふみ
連休の予定を誰か埋めてくりやれ　みくたん
ふらこは眩暈の装置細い月　鷺沼くぬぎ
槍のごと数多の藤が降ってくる　屑乃ハコ
たなぼたの棚を探して壁見上げ　輪井ゆう

朝礼で合成された変異体 まつりぺきん
月月月月好きキライ まつりぺきん
答えてよ 問いが 悲しく星になる… さくら
薔薇色の石鹸ただのシーチキン まめのすけ
誘拐と気付かぬほどの暖かさ たろりずむ
中継が途切れ遭難文字の海 涼閑
あつあくび思い思いの肉垂で おかもとも

☞ 仕事仕事仕事 天やん

彗星が小指の爪にはさまった 森砂季
抜けがけは許さないわよチュエリッブ すずしろゆき
春時雨街といふ画布に線描画 こたろう
癩の虫見つけ次第に抱きしめる 睦月ヨシ
納得のいかぬ夜もあり桜鱒 hyutoppa
花園は月にいつかい海になる あびゆたみや
鬱々として 月尽く 宮坂変哲

コロナちゃんころつと死んでくれないか？ Donkey

囁きも飲み込み別れのハイボール カゲキ・ちゃげぞう

春霞み軍靴の音の高々と 山田真佐明

木流しや行商人の待つ河原 菊池洋勝

飛ぶ鳥を喰らうつもりか鯉織 huggwort

わたくしが一粒種の片一方 さう

生きているふりが上手な信号機 海月漂

オキザリス雨の土曜は寝坊して 雲心

父親が口笛吹いている 不味い 太代祐一

恋をした君はげんげに染まりゆく 月波与生

アンパンの顔が落ちてる登山口 月波与生

◆ 5・7・5・7・7 (短歌)

聞いているよ、それよりあそこ怪獣が、浮気？ してるよ、ほ
ら、怪獣が 峯ひろき

はだいろはき色あり、みどりいろは色あり、くろいろひ
とつ えびたからいち
孵化したらわたくしだけに口を利くロールキャベツに包ん
だ鳥たち えびたからいち
テキーラはマウスウオツシュに最適です髓の砂鉄を豊かに
します 白石ポピー

この脳の悲しいところを麻醉銃みたいに狙う君の射精が
萩原 アオイ

一筆書きをさげすまれることを宇宙はどうして 石原とつ
き

日曜の私を知らない君のこと大事にするねしまっておくね
何となく短歌

秩序とか道徳とかに背いてもただ抱きしめん 愛しい君
を ゆう

同じ場所ずっと立ってるだけじゃなく巡礼しなさい 独
活の大木 みくたん

見つめてる落ちる夕日で髪を染めひかりの渦で視線を反ら
す 元さん

かなしみの果てに見え得るやすらぎととわの涙を求めてさ
がす 在原涙

毒のある人の言葉を反芻し口内炎もなかなか癒えない 奥
かすみ

葉に潜む棘をわたしも持っている 薊とはむかしご縁があ
って 佐竹紫円

テキーラをショットでいく夜(よ)脳髓はサルサの国へすべ
て忘れて 水の眠り

武家屋敷バーベキューして一休み川に近づき犬は吠え出す
ところばどーる

忍びつつ泣けば流れる鼻腔への路(みち)は涙の暗渠(くらう
か daist

金メダルもらうの嬉しかったよな中身がチョコレートなら
なおさら 似鳥

寂しい夜はベーコンペッパーマカロニサラダの刑に処す
一人用こたつ

さよならを言えなかった日抜け殻のベッドと服むことのない薬 黒音

おなじ死を溺死と云へばみぢめだが入水は上京するかのよう
うづ Nichtraucherchen

見えているガラスに映えるトレンドと昼とは違ふ 夜の原宿 はゆさく

陽光が燦々と降り注ぎ、春 生かされている訳を知りたい
fine

人生はだいたい100で出来ていて100番目だけツイートして
てる 屑乃ハコ

奇怪なこの箱何が入ってる？お好きなようにしてくれ
と待つ とし

そこにいる声も聴こえるそのことがここにいないと冷たく
告げる ばさ

不自由が逆に心を解き放つ手枷足枷満員電車 satu
存在の消失は忘れ去られること憶えていくくれるかな

Born Slippy
喉濁き口に少しの水含みゆつくりと流しこむ むくみんマ
マ

今日こそはきつちりはらつてもらいましよう 成仏するか
はむこう次第で 森内詩紋

億とか兆とか御託はいいから宇宙よさっさと俺をのみこめ
乙ノ

添えられた花にも生きる意思はある綺麗と宥められるだけ
では みさきゆう

探してゐる途中で娘が騒ぎ出し何を探していたか忘れる 風
ちひろ

戦場で死んでゆくもの貨幣価値いくらと数える退職届 此
糸むら咲

◆詩

特別には何も起きない黄金週間

寝て起きて納豆飯食べるだけ

それで幸せ (思雨)

◆作品評から

テキーラをショットでいく夜(よ)脳髄はサルサの国へすべ
て忘れて 水の眠り

〜いいねをこ回連打したい(朝の露となりて)

〜情熱的な中に、しっかりとクールな芯が通っているよ
うで、とてもかっこいいです……!! (佐竹紫円)

月月月月好きキライ まつりぺきん

〜好き 嫌い……

花びらで占いしてるようなイメージ? (まつもともこ)

奔放な暮しの末路 ▶▶▶おつとせい 西脇祥貴

〜絵文字川柳、面白いなあと、自分もいつか挑戦しよう
と思うのですが、環境(例えば、ブラウザとか、OS・スマ
ホとか、コピペできるかとか)に依存しそうで、思った通
りにできるかなあ…となかなか勇気が出ないんです(笑)
(まつりぺきん)

風と影がこわいよお母さんの遊具 藤井阜

〜好きです。(新出既出20)

とこしえの背景としてねむる猿 上崎

〜うつかり寝落ちて少しの罪悪感とたたかい中のこんな
時間に、しみますね……!! (西脇祥豊)

見つめてる落ちる夕日で髪を染めひかりの渦で視線を反ら
す 元さん

〜素敵だなあ (ピーヒヤラ)

コンタクトレンズに依存した世界 愛していない↓裸では
ない 春町

〜前半と後半のブリッジである空白をどう読めばいいの
だろう。「愛していない↓裸ではない」の愛想の悪さがとて
もいい。連作で読みたい。(月波与生)

消え方を思い出せない蜃気楼 星野響

〜感動の終幕か何も起こらず終わるのか自分の消え方は
誰にも予測がつかない。思い出せないのは消え方か?存在
の仕方か? (月波与生)

朝礼で合成された変異体 まつりぺきん

〜校長先生の話がやけに長くてバタバタ生徒が倒れてい
くタイプの朝礼、あれはバイオホラーに出てくるような究
極生物を生み出す生体実験だったんですね……!! (森砂季)

〜「合成される」じゃなくて「合成された」ってとこポ
イントですね。もう既に成されてしまった合成。それが「変
異体」のかなしみと笑いを生み出していたと思います。

(川合大祐)

そこにいる声も聴こえるそのことがここにいないと冷たく
告げる ぱさ

〜この歌、とても好きです。唸りました。(奥かすみ)

愛されるとはなんだろう 真夜中にいたみを抱いて絵本は
眠る daist

〜愛されることを描かれた絵本を絵本は読むことができ
ない。自分を読んだ人が感動してる意味を絵本は知らない。
愛されたいと思いつながら絵本は眠る (月波与生)

ゆるされてゆるした後のしゃぼん玉 千春

〜まだ許してない人、あと何人いますか？

あなたがゆるす前に先に「ゆるされて」いるのかもしれない
せん。(千春)

背骨が並ぶ瓦屋根 西沢葉火

〜瓦屋根と背骨が似ているって気づきませんでした。と
ても面白いですね!

ネプリの「背骨」も四つの句で変化する風景を見られてワ
クワクしました。(森砂季)

さみしい夜のほうが無敵だったし 糸瓜曜子

〜無敵といえは(鉄棒に片足かけるとき無敵 なかはら
れいこ)を思い出す。まわりは敵ばかりで無敵とは縁が
ない自分はずまんない奴だな、と(ときどき)思う。(月波
与生)

ソナチネの4小節を繰り返す蛹が蝶になり始めてる *紫

陽花*

〜ソナチネの繰り返し、蛹が蝶になる繰り返し…。丸尾
末広の絵を延々と見ていることと似た怖さを感じる。(月波
与生)